

株 主 メ モ	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要あるときはあらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（郵便物送付先） （電話照会先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-782-031
インターネット ホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
株式に関する住所変更等の 届出およびご照会について	証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。 証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記の電話照会先までご連絡ください。
特別口座について	株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等の届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。
公告の方法	当社のホームページに掲載します。 http://www.isolite.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
上場金融商品取引所	東京証券取引所

● 当社の単元未満株式を保有されている方へ ●	
当社は、1単元(100株)に満たない株式をご所有の株主様に対しまして、不足分を買増して単元株式にまとめていただけるよう、そのご請求に応じて単元未満株式を売渡しいたしております。 また、逆に、ご所有の単元未満株式をご処分されたい場合は、従来どおり当社にて買取りいたしております。 お手続きにつきましては、証券会社に口座を開設されている株主様は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の三井住友信託銀行株式会社の電話照会先にご連絡ください。	

株式に関する 「マイナンバー制度」 について	市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。 このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要があります。	マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先 ● 証券会社でお取引をされている株主様 お取引の証券会社までお問い合わせください。 ● 特別口座に登録されている株主様 上記特別口座の管理機関までお問い合わせください。
------------------------------	---	--

イソライト工業株式会社
〒530-6108 大阪市北区中之島三丁目3番23号 中之島ダイビル8階



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



イソライト工業株式会社
ISOLITE INSULATING PRODUCTS CO.,LTD.

株主の皆様へ

To Our Shareholders

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ第130期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 飯田 栄司

当社グループは、高温産業の省エネルギーに貢献するために、耐火断熱れんがと高温断熱ウールに代表される高温用耐火断熱材を製造・販売しています。1000℃を超える高温での高度な断熱の実

現のためにセラミックウール技術と多孔質化技術を基盤に新製品を提供し、またそれらの技術は、高温産業界の省エネルギー化のみならず、防災や環境保全等の幅広い分野で社会に貢献しています。

社是

創意と調和

経営理念

1. 地球の環境にやさしく 国際社会の繁栄に寄与する
2. 時代の流れを先取りし 迅速に物事に対処する
3. 組織の壁にとらわれず 連携して社業に励む
4. 自己の仕事を前向きに たえず創造性を発揮する

FEATURE

イソライトの製品開発力

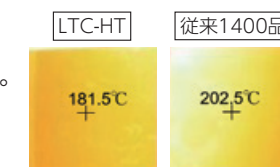
最近のセラミックファイバー製品や高機能製品についてご紹介!!

当社グループはAES（アルカリアースシリケート繊維）、RCF、PCW（結晶化繊維）およびマイクロポーラス断熱材の全品種を製造販売する世界トップクラスのメーカーとして、環境と人に優しく、社会ニーズに対応した製品開発・改良に取り組んでいます。また、機能材として自動車、半導体・電子材料製造用部材、燃料電池・二次電池用部材や産業用の高温排気ガス集塵フィルターの改良・新製品開発に取り組んでいます。



高性能断熱材分野 High Performance Insulation LTC SERIES

AESである生体内低残存性繊維「BSSRシリーズ」は「人に優しい」繊維品質に更に改良を加え市場からは高い評価を受けています。また、新たに1400℃グレードをラインアップしました（BSSR1400）。マイクロポーラス系製品の「LTCシリーズ」では世界初の1400℃グレード製品「LTC-HT」は高性能であることが市場で実証されました。



サーモビューアーによる炉外面温度



環境関連分野 Environmental ISOFIL / SAGGAR



新イソフィル

当社独自の複合化技術を発展させ、新規機能製品として「セッター」「匣鉢」などの開発にも取り組み、試験提供を開始しました。これらは軽量、低熱量など環境負荷物質低減に貢献でき将来が期待されます。自動車用途や産業用途の排気ガス浄化装置材料の技術開発にも取り組んでおり、焼却炉用の高温集塵フィルター「新イソフィル」は新コンセプトの開発製品の実証試験が間もなく開始される予定です。



焼成用軽量匣鉢

2020年10月、株式会社ITMを吸収合併

人材、設備、技術、資金など全ての経営資源を集中し、より効率的な事業運営と両社のシナジーを最大限に発揮することにより今後の事業の成長を図るため、当社の完全子会社である株式会社ITMを吸収合併いたします。



第130期の概況

Business Summary for The 130th

事業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の長期化により世界経済が減速するなか、良好な雇用・所得環境もあり足踏み状態が続きましたが、年度後半は、自然災害や製造業の企業収益悪化などにより下振れる結果となりました。さらに足元では、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により急速に不透明感を増しております。

鉱工業生産も、輸出の減少や消費税増税の影響を受けて低調となり、さらには感染症拡大による工場の操業停止など、設備投資マインドにも悪影響が出始めています。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、耐火断熱材をキーテクノロジーに、地球環境保全に貢献することを使命とし、生産基盤の整備や市場ニーズを捉えた新製品の開発、海外事業の強化に取り組んでまいりました。

その結果、断熱関連事業におきましては、各種工業

炉向けの販売が引き続き堅調に推移しましたが、自動車・半導体関連製品の販売減少が改善せず、当連結会計年度の売上高は161億29百万円（前期比3.8%減）となりました。

利益面におきましては、自動車・半導体関連製品の販売減少を、耐火断熱関連製品の販売増加で補いましたが、営業利益は28億36百万円（同0.5%減）、経常利益は28億86百万円（同2.0%減）にとどまりました。一方、親会社株主に帰属する当期純利益は18億91百万円（同28.2%増）となりました。なお、前年同期におきましては、原料用地閉鎖に係る特別損失を計上したことなどの特殊要因が含まれております。

今後の見通し

当社グループは、10月に予定しております子会社との経営統合により、一層の経営効率化を図るとともに、技術力、販売力、生産基盤をさらに強化することで収益の確保に努め、高温産業の省エネルギー化と地球環

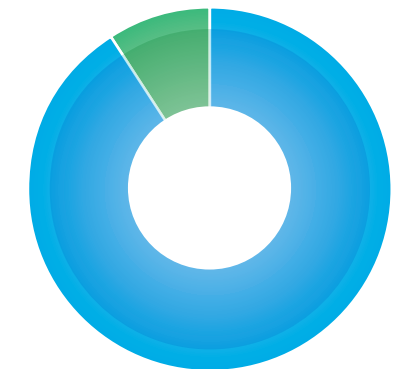
境保全に貢献してまいります。

しかしながら、今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による世界経済への悪影響が広範囲におよび、収束の見通しや感染拡大の影響が全く見通せないため、先行きはさらに不透明感が強くなると予想されます。当社グループにおいても、今期の業績予想につきましては、マレーシア子会社の操業停止の影響や中国子会社が業績に与える影響度などが見通せず、合理的見積もりが非常に困難であるため、現時点では未定とし、開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

第131期予想について

第131期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を現時点において合理的に算定することが困難であるため、未定といたします。今後、合理的に算定することが可能となった時点で速やかに開示いたします。

セグメント別売上高構成比



セグメント別の概況

断熱関連事業



セラミックファイバー各種製品の製造・販売



不定形耐火物および関連製品の製造・販売



工業炉の設計・施工

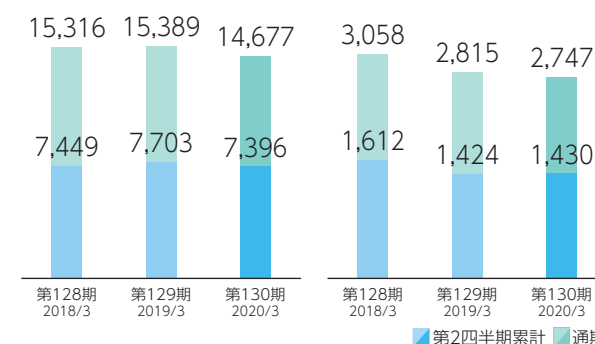
IT関連設備材料の製造・販売

自動車排気ガス浄化装置用材料の製造・販売

ファイヤープロテクション材料の販売

断熱関連事業におきましては、各種工業炉向けを中心に断熱関連製品の売上は堅調に推移し、特に耐火断熱れんがの売上が拡大しました。一方、自動車・半導体関連向けのセラミックファイバー製品の売上減少が継続したことにより、当連結会計年度の売上高は146億77百万円（前期比4.6%減）となりました。

売上高 (単位：百万円) 営業利益 (単位：百万円)



その他事業



高温集塵用セラミックフィルターの製造・販売



高機能セラミックファイバー成形体の製造・販売



珪藻土質セラミック多孔体の製造・販売

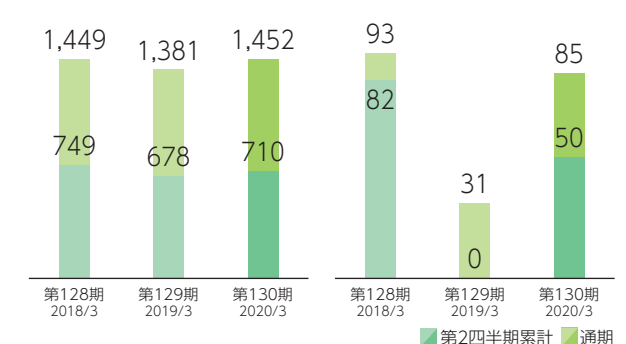
集成材その他建材の製造・販売

住宅用燃焼機器の販売

太陽光発電所における発電、電気の供給

その他事業におきましては、環境緑化製品および機能性セラミックス製品の売上が拡大したことにより、当連結会計年度の売上高は14億52百万円（前期比5.1%増）となりました。

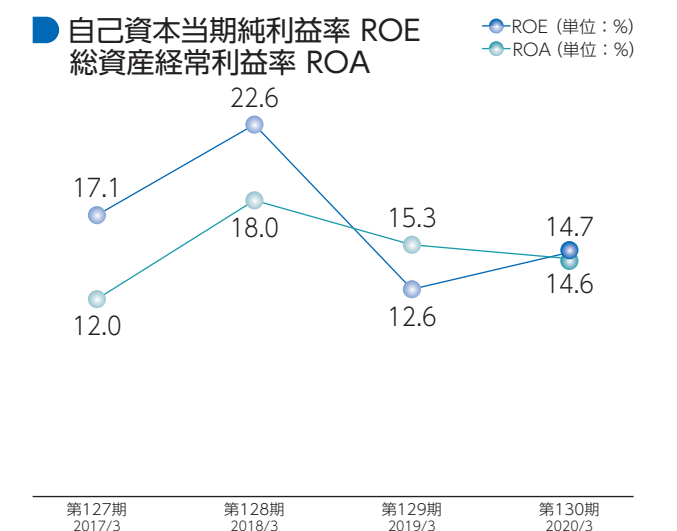
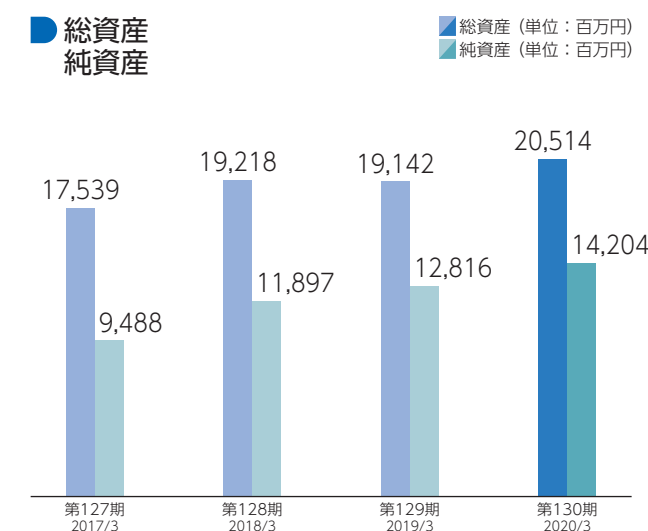
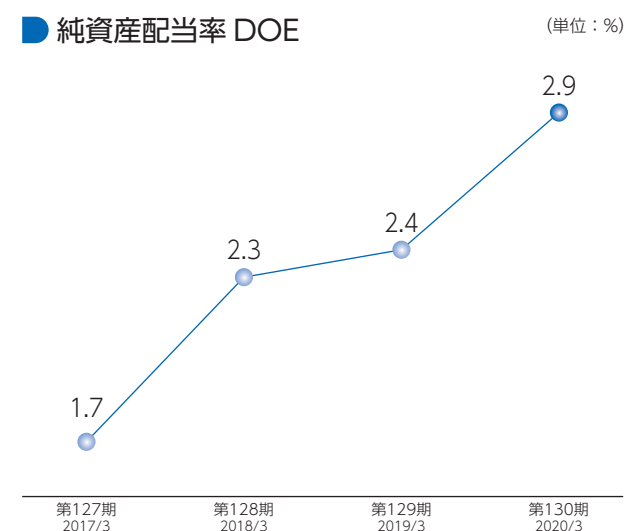
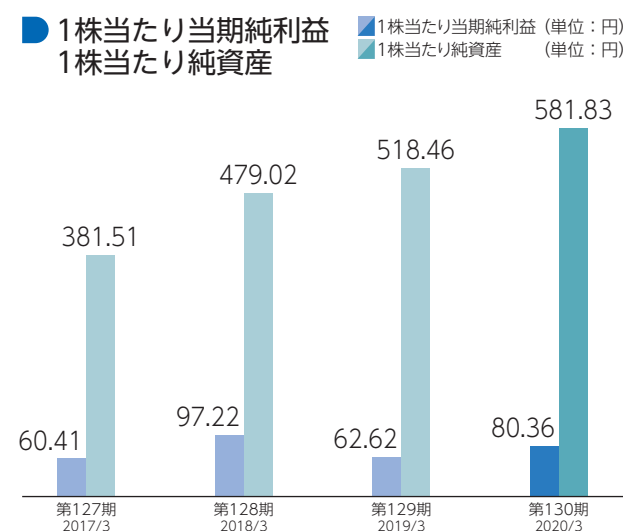
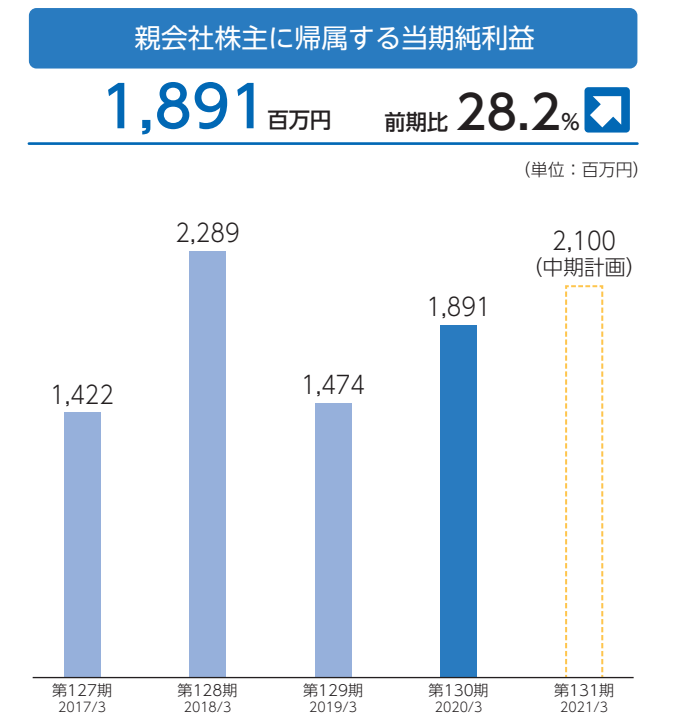
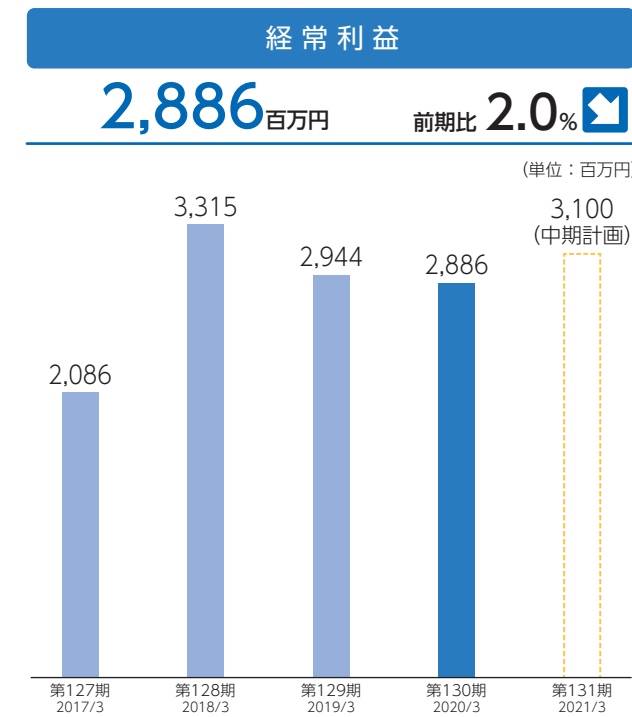
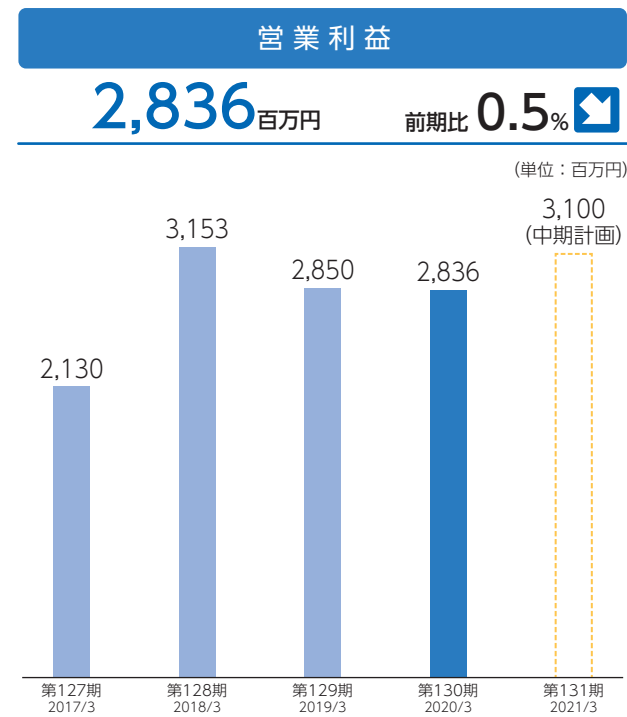
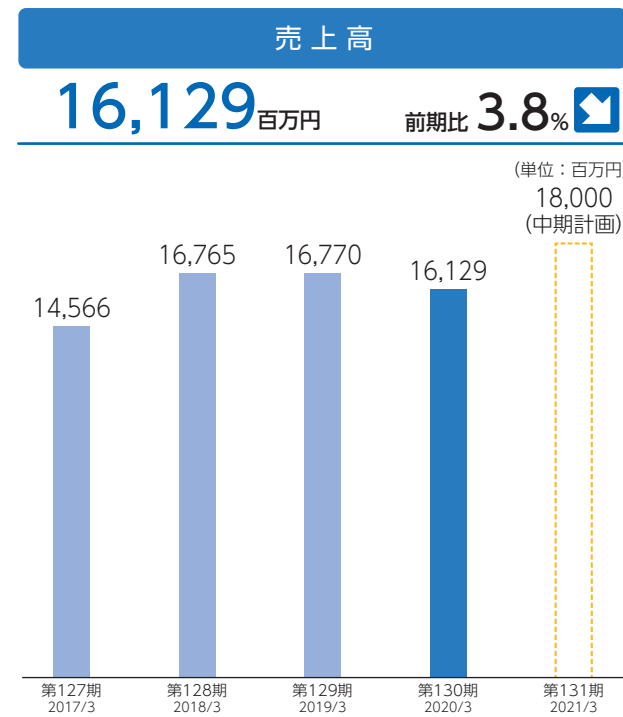
売上高 (単位：百万円) 営業利益 (単位：百万円)



連結財務ハイライト

Consolidated Financial Highlights

第130期実績

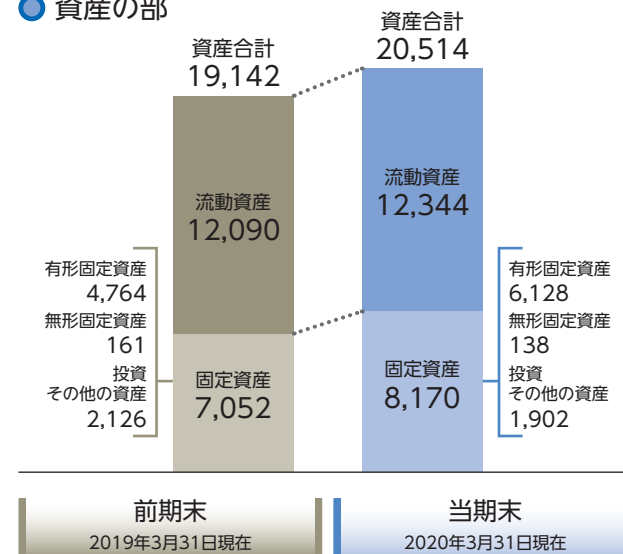


連結財務諸表（要旨）

Consolidated Financial Statements

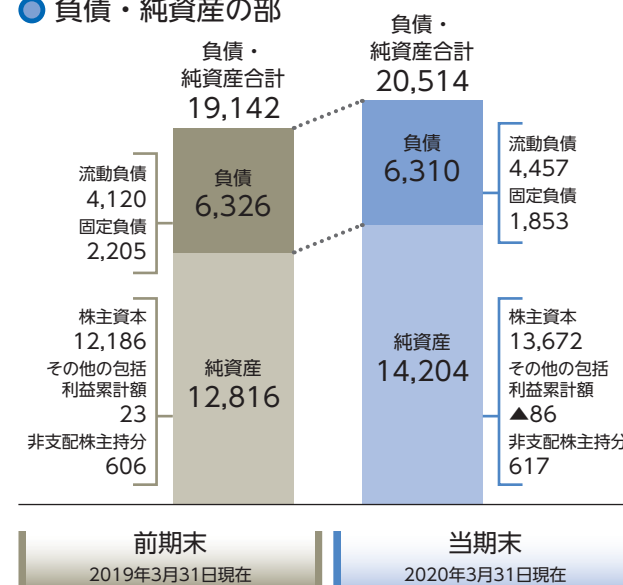
● 連結貸借対照表（単位：百万円）

● 資産の部



総資産
前期末比 **1,371**百万円 ▲
当連結会計年度末の総資産は、有形固定資産の増加等により前連結会計年度末に比べ13億71百万円増加し、205億14百万円となりました。

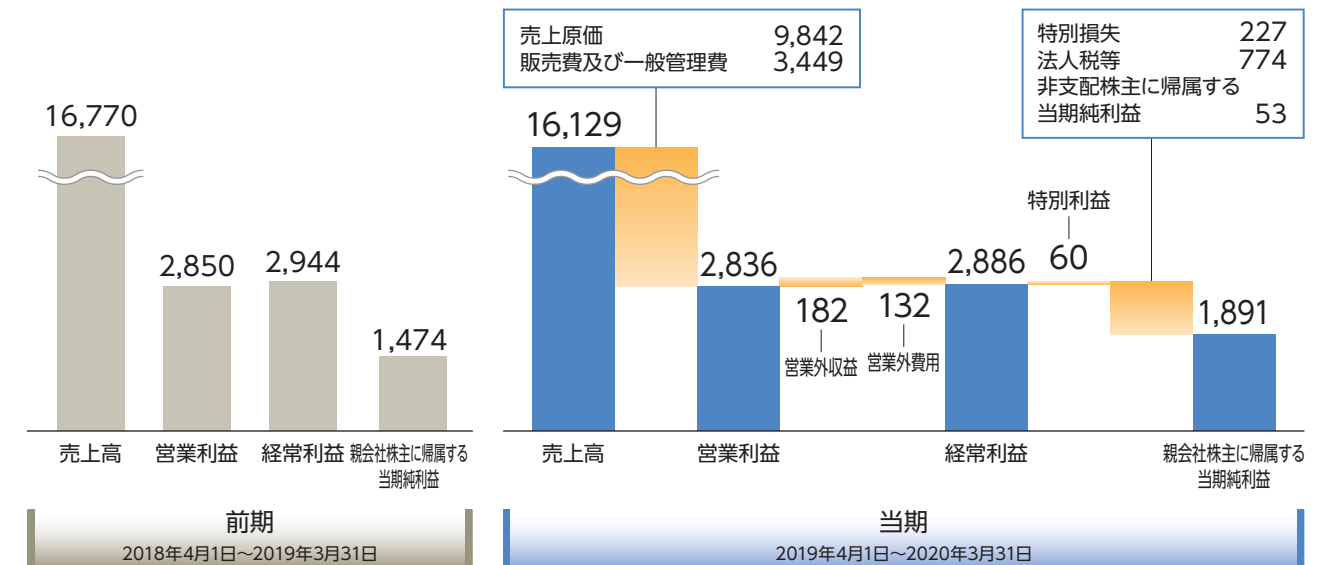
● 負債・純資産の部



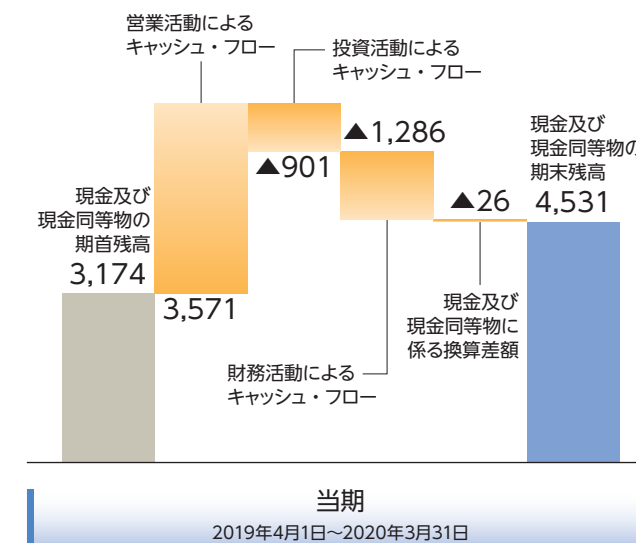
負債
前期末比 **16**百万円 ▲
当連結会計年度末の負債は、借入金の減少等により前連結会計年度末に比べ16百万円減少し、63億10百万円となりました。

純資産
前期末比 **1,387**百万円 ▲
純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ13億87百万円増加し、142億4百万円となりました。

● 連結損益計算書（単位：百万円）



● 連結キャッシュ・フロー計算書（単位：百万円）



営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は35億71百万円（前連結会計年度は16億11百万円の増加）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益、売上債権の減少によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は9億1百万円（前連結会計年度は5億69百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は12億86百万円（前連結会計年度は9億49百万円の減少）となりました。これは主に、借入金の返済、配当金の支払によるものであります。

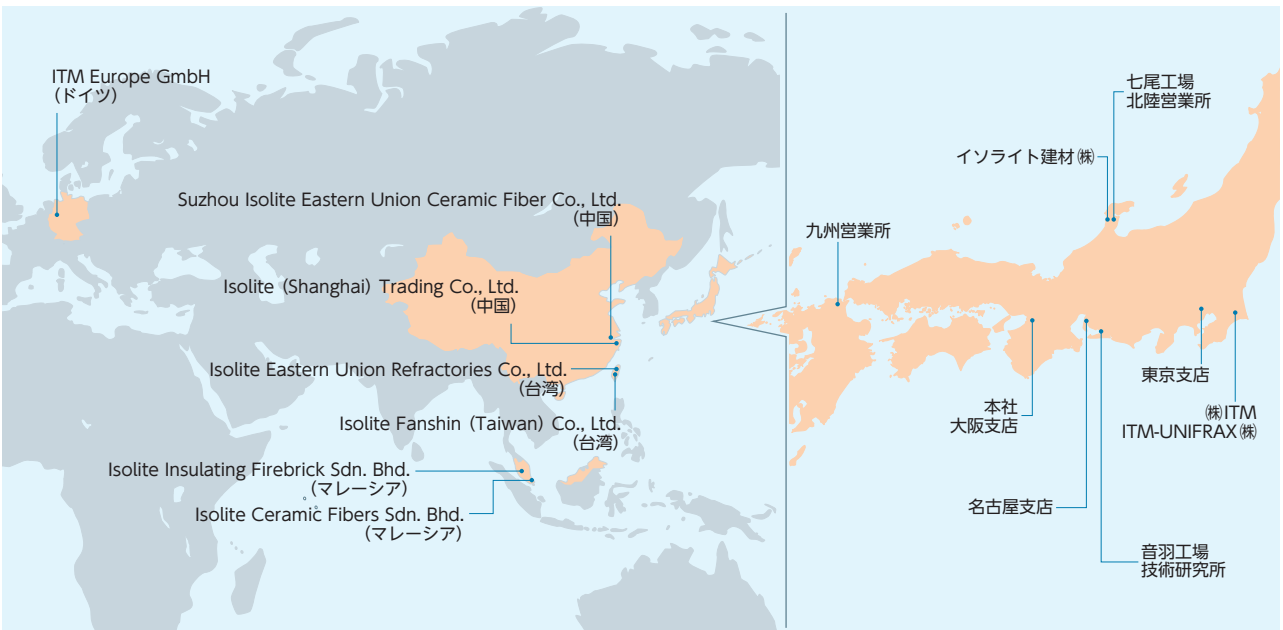
● 会社概要 (2020年3月31日現在)

社 名	イソライト工業株式会社
設 立	1927年11月25日
資 本 金	31億9,650万円
本 社	〒530-6108 大阪市北区中之島三丁目3番23号 中之島ダイビル8階
U R L	http://www.isolite.co.jp/
従業員数	670名 (連結)
グループ 会 社	連結子会社 9社 持分法適用関連会社 2社

● 役員 (2020年6月25日現在)

代 表 取 締 役 社 長	飯 田 栄 司
取 締 役	佐 野 達 郎
取 締 役	山 脇 敏 弘
取 締 役 (常 勤 監 査 等 委 員)	佐 藤 博 司
取 締 役 (監 査 等 委 員)	白 江 伸 宏
取 締 役 (監 査 等 委 員)	石 川 明 彦

● グループ主要拠点



● 株式の状況 (2020年3月31日現在)

発行可能株式総数	発行済株式総数	株主数
51,259,000株	23,606,573株	4,534名

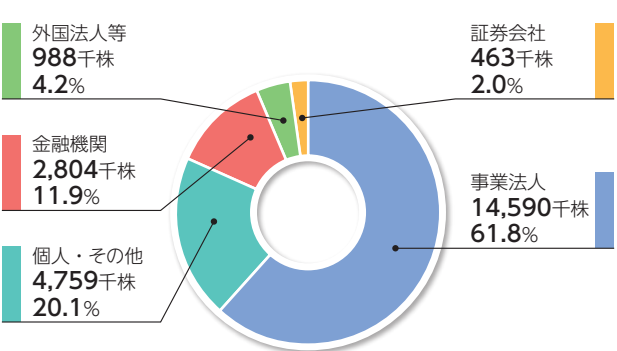
● 大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
品川リフラクトリーズ株式会社	12,919千株	55.33%
ニチアス株式会社	1,010千株	4.33%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	760千株	3.26%
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	584千株	2.50%
三井住友信託銀行株式会社	215千株	0.92%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口5)	208千株	0.89%
三井住友海上火災保険株式会社	191千株	0.82%
クレディ・スイス証券株式会社	186千株	0.80%
UBS AG LONDON A/CIPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT	176千株	0.76%
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	174千株	0.75%

(注) 持株比率は自己株式 (255,513株) を控除して計算しております。

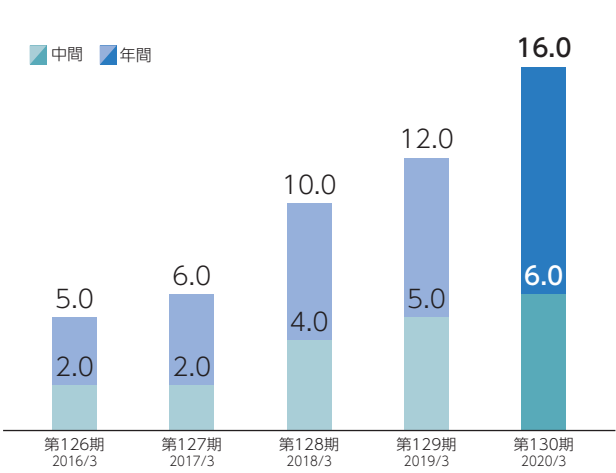
● 株式分布状況

● 所有者別株式数



● 1株当たり配当金

(単位: 円)



当社は、持続的成長と中長期的な企業価値の向上を目指し、様々なリスクへの対応力を強化するため、強固な財務基盤を構築した上で株主の皆様へ業績に応じた適正な配当を実施することを基本方針としております。
第131期の期末配当金については、現時点での業績予想の算定が困難であるため、未定といたします。

● 所有者別株主数

